

株式会社ゴードー様 (オフセット印刷紙器工場)

2020 埼玉県川越市



化粧箱の後加工で品質を守りつつ作業環境向上

ピーエスの蒸気加湿器 EL をご採用頂いた株式会社ゴードー様では、お土産や食品ギフト等の化粧箱のオフセット印刷を行っています。紙器パッケージ印刷工場では、乾燥による罫割れやインク割れを防ぐために冬期の湿度管理が必要です。

ゴードー様でも印刷工程は既設加湿器設備により湿度が調整されていますが、打ち抜きや糊貼り等を行う《後加工室》ではレンタルの置き型加湿器を使用されていました。

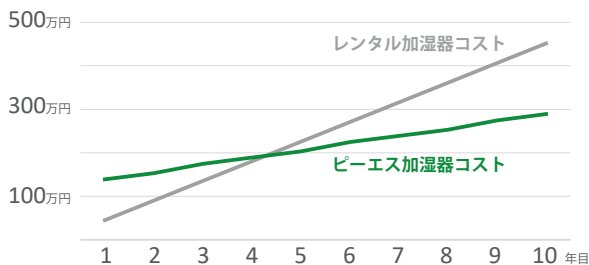
スプレー型にファンがついた様な形の加湿器は、

「湿度は上がるのですが周辺を濡らしてしまう」「寒くて作業環境に問題があり空調機の稼働率があがってしまう」といった課題が多くありました。またそのレンタル費用は年間約 30 万円、一日に 4 回ほどの給水の手間コスト等、費用の面でもお悩みでした。

ピーエス加湿器を導入してからは蒸気によって暖かく潤うので冬期の空調稼働率が減り、作業環境も良くなったと高評価を頂きました。「後加工室に加湿器を 1 台設置するだけ、工事も休業日を使って 1 日半程度で特に作業を止めることなく簡単に設置できました。加湿に関しては何もせずに湿度が整っています。」とご満足いただいています。



ライフサイクルコスト比較イメージ



加湿負荷 :20 kg/h 年間加湿時間 880 時間として算出
 レンタルはレンタル代・電気代(本体+空調負荷分)・給水手間コスト
 ピーエス加湿器は購入費・施工費・本体電気代・シリンダ交換費(3年毎)

左図はレンタル加湿器とピーエス加湿器のライフサイクルコストの比較イメージです。

初年度に導入費用はかかるものの、5 年目でコストが逆転。環境改善に加え、コスト面でもメリットが生まれていることが分かります。



1：加湿器設置状況。出来るだけ湿度が行き渡りやすい様にファンユニットを高い位置に設置している。2.3：加湿器使用の《後加工室》